

ひ ろ の 議 会 だ よ り

P2

新年のごあいさつ

P2

12月定例会
こんなことが
決まりました

P8

7人の議員が
町政を問う

(一般質問)

No.152

こども園
発表会

こども園の発表会
が開催されました。
歌もダンスもとて
も上手でした。
令和3年12月7日撮影



QRコードを読み込
むと議会の情報を見
ることができます。



新年のごあいさつ

広野町議会議長 北郷 幹夫



令和4年の新春を迎え、議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、日頃より議会運営に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感

染症への対応・対策に追われた1年となりました。

現在は、感染力の強いオミクロン株の感染拡大が懸念されており、町民一丸となって基本的な感染症対策を徹底し、町内における蔓延を抑えなくてはなりません。

一方で、町制施行80周年記念式典の挙行、「広野町特別養護老人ホーム花ぶさ苑」が公設民営での事業継承、JFAアカデミー福島16期生19人が広野

町での活動を再開、常磐自動車道いわき中央ICから広野ICの4車線化、延期されていた東京五輪聖火リレーが復興のシンボルであるJヴィレッジをグラウンドスタートし、復興が進む被災地の状況が国内外へ発信され、東京オリンピックが成功裏に終わりました。

駅構内や未来のかけ橋へのエレベーター設置工事が着手され、駅東側には移住・定住を念頭とした開発、更には文化交流施設の整備

など復興への歩みが一つの形として着実に具現化しています。

議会といたしましては、議会改革の新たな取り組みとして、昨年「広野町議会基本条例に関する調査特別委員会」を設置し、基本条例の制定に向け協議を重ねています。

結びに、皆様にとりまして、本年が幸多き一年となり、更なる飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

こんなことが決まりました

12月定例会

令和3年第4回定例会を12月15日から16日までの会期で開きました。町長から所信表明並びに町政全般についての経過報告が述べられるとともに、一般会計・特別会計補正予算を含む町から提出された11の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、議員が意見書の提出を發議し、全会一致で可決しました。



令和4年の初日の出

補正予算可決

子どもたちに10万円

一括現金給付

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で国が打ち出した、子どもたちに1人あたり10万円の給付を行うための費用などが計上されました。

10万円の給付の内5万円を年内に現金給付するための専決補正予算を承認し、国がクーポンを基本とした給付を行うこととしていた残りの5万円についても現金給付するため、追加で提出された補正予算を可決しました。

給付の方法は定例会閉会後も検討が続けられ、最終的に広野町では年内に一括して10万円を給付することとなりました。



みかん狩りを楽しむ子どもたち

質疑

対象外の方も救う政策を

門馬巧議員

今回の給付金の所得制限960万円以上の給付対象から外れる方は何人いますか。

報道によれば所得制限を設けない自治体もあり、経済再生担当大臣も所得制限を設けず給付しても何ら問題ないむね発言しています。町の財政調整基金残高は10月時点で20億4600万円ありますが、給付対象から外れる方を救い上げる政策を講じることはできませんか。

坂本こども家庭課長

960万円以上の世帯数は11世帯、対象児童13人となっています。

遠藤町長

所得制限を設けることが閣議決定され今を迎えています。

国から様々な情報が発信されていますが、対象外となる方々にどのような手を差し伸べることができるかについては、施策の目的を鑑み、精査して、町として適切な対応を検討したいと思います。

各会計の補正額

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第6号)	3223万円	64億6081万円
一般会計(第7号)	2億1332万円	66億7414万円
国民健康保険特別会計	166万円	8億3818万円
土地開発事業特別会計	670万円	1億7558万円
公共下水道事業特別会計	30万円	2億3065万円
介護保険特別会計	6348万円	6億4212万円
後期高齢者医療特別会計	7万円	2187万円
一般会計(第8号)	2700万円	67億0114万円
合計	3億4478万円	86億0955万円

主な内容

- 新型コロナウイルス感染症対策(ワクチン接種3回目に係る接種委託等) 883万円
- サッカー国際人育成プログラム支援事業(JFAアカデミー福島で使用する備品の購入) 134万円
- 農業基盤整備促進事業(県営圃場整備事業の補完工事による負担金の増額) 2250万円
- 農地中間管理事業(折木地区の中間管理機構との契約面積増加による協力金の増額) 1454万円

※千円未満を切り捨てて表示しています。

議員発議で意見書



折木下原地区採石場埋め戻し計画
 に関し住民の意見を最大限に尊重
 するよう求める意見書

提出者 小磯 利雄
 賛成者 黒田 政徳

門馬 巧
 畑中 大子
 北郷 伯弘

〔要旨〕

折木字下原地区採石場埋め戻し計画について、事業者からの説明を聞いた地域住民は、大型車両の大幅な通行量の増加等による生活環境の悪化に強い不安を抱いている。

議会として、地域住民の意思を最大限に尊重し、住民が安心・安全な生活を続けることができるよう、左記の事項を遵守したうえで計画について判断するよう強く要望する。

1 町は、今後も県に許認可等について意見を求められた場合は、地域住民の意思を最大限に尊重して回答すること。
 2 町は県に対して、事業者からの許認可等の申請にあたっては、地域住民に十分な説

明がなされたことと、地域住民の一定の理解が得られていることが客観的に判断できる根拠書類を添付させるよう引き続き求めること。

〔提出先〕
 町長



12月20日、議長から町長へ提出

文化交流施設の備品購入を可決

改修工事中の文化交流施設(旧広野幼稚園)の用途変更に伴って必要となる什器、展示用備品及び事務用品の購入を可決しました。

事業の名称	広野町文化交流施設備品購入事業
納入の場所	下浅見川字築地73番地1
納入期限	着工 令和3年12月17日 完成 令和4年3月31日
契約代金	1815万円
契約者	株式会社双葉事務器 代表取締役 志賀 祐広



完成が楽しみな文化交流施設

その他の可決議案

- 議案第89号 双葉南地区心身障害児就学指導審議会共同設置規約の一部を改正する規約(改正学校教育法施行令の施行に伴う改正)
- 議案第91号 財産の処分について(広野原団地)
 (入居者の生活再建と居住の安定化を図るとともに、将来の公営住宅管理戸数を適正な供給量とするため広野原団地戸建2棟分の土地と建物を売却)

道の駅に関する調査

特別委員会報告

第1回 9月28日 開催

第2回 11月11日 開催

調査を開始するにあたって、どのような資料が必要か協議した結果、道の駅に関する産業厚生常任委員会会議録、年度毎の予算・決算関係、ボーリングに関する資料等が挙げられ、議長を通し町長に対して資料請求することとしました。

調査期間については、調査終了までとしました。また、調査に係る予算については、次回以降の委員会で協議することとして終了しました。

なお、今回の委員会で請求することとした資料は、10月1日付けで請求し、10月21日に各委員へ配布しました。

各委員に、配付した資料を確認した上での疑問点などを挙げていただき、調査項目にまとめ、項目ごとの調査方法について協議することとしました。

委員から、ボーリングが適正だったか第三者に検証してもらうこと、コンサルタントを変えた理由、ボーリング実施にあたっての国県等のマニュアル、用地買収における地目ごとの面積等の資料請求をしたいとの意見がありました。

今回の会議録を正副委員長で確認し、各委員から出た意見を整理した後に再度資料請求することとしました。また、調査に係る予算措置については正副委員長に一任することとしました。

定例会・臨時会

第7回臨時会

10月11日に第7回臨時会を開きました。旧幼稚園舎を文化交流施設として改修する工事請負契約および老朽化した築地ヶ丘体育館を解体する工事請負契約の締結を可決しました。

旧幼稚園舎の改修工事

工事の名称 広野町文化交流施設改修工事
 工事の場所 下浅見川字築地73番地1地内
 工期 着工 令和3年10月12日
 完成 令和4年3月30日
 請負代金 2億2990万円
 請負者 広野町文化交流施設改修工事横山・西本建設特定建設工事共同企業体

築地ヶ丘体育館の解体工事

工事の名称 広野町築地ヶ丘体育館解体工事
 工事の場所 下浅見川字築地地内
 工期 着工 令和3年10月12日
 完成 令和4年3月31日
 請負代金 9042万円
 請負者 広野町築地ヶ丘体育館解体工事常磐開発・西本建設特定建設工事共同企業体

第8回臨時会

10月27日に第8回臨時会を開きました。長引く新型コロナウイルス感染症の影響による業務用米の大幅な需要減少や人口減少及び食生活の多様化による米消費の減少により、令和3年産米の価格が大幅に下落し、農業者の収入減が見込まれるため、令和3年産主食用米を販売している農業者の生産意欲と経営安定を支援するとともに、農地の防災機能や気候緩和機能を守るため補助金を交付するため費用が計上された一般会計補正予算を可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1091万円	64億2858万円
内容		
●広野町米価下落影響緩和緊急対策補助金 1091万円		



解体する築地ヶ丘体育館

第9回臨時会

11月30日に第9回臨時会を開きました。福島県人事委員会勧告にならい、期末手当の支給額を職員で0.15か月分、議会議員及び町長等で0.1か月分引き下げる条例を可決しました。

報告

を報告します

11月8日（月）
総務文教常任委員会

調査件名

●広野駅周辺開発について

総務文教

広野駅周辺開発 宅地販売は5年春に

福島県の津波浸水想定公表により、住宅地開発の設計変更などがあり、戸数の変更、販売時期の延期等が発生することとした。

委員からは、今後の販売について町はどう発信していくか、56区画を46区画に変更することで購入費用が上がるか、団地の安全をどう伝えるか、販売時期等について質疑がありました。

担当課長からは、国の移住定住政策と合致するところが多いことから事業者に対して、早期にモデルルームを建てるなど、移住定住政策のPR活動やホームページ、新聞広告なども活用したい、販売価格については、工事方法が変更になることで価格が上がることはないと思われる、完成・販売は令和4年から令和5年春に延期

になるとの見通しが示されました。

また、駅舎周辺、西側ロータリーなど構想の全体像についての質問に対しては、構想段階だが駅舎のコンパクト化を進めるためJRと協議を行っているところであり、エレベーター工事におおよその見通しがついた頃に駅舎の設置場所も決められ、基本設計前のタイミングで図面や構想などを示すことができることとした。

1期開発における空いている土地への高等学術機関誘致については、鋭意努力しているところであり、情報を収集しながら対応できるように進め、明確になり次第お知らせすることとした。

産業厚生

ため池の放射性物質 安全のため調査継続を

ため池の調査基準について、調査の実施回数についての質疑がありました。

8000 Bq/kgを超えないか調査を実施するとの説明でした。

環境防災課長から、ため池の調査基準については農林水産省が示すため池の放射性物質対策技術マニュアルに基づき、流入口、最深部、取水口の3カ所

で、本来は1回で終了となるが、周辺地域で対策をした後に放射線濃度が上昇したことを受け、今回もう一度調査を行うとの説明でした。

西の沢ため池について

では、平成28年度から継続調査を行う箇所になっており、そこでの数字を注視して、場合によっては再度詳細に調査するよう求めていくとの説明でした。

委員から、町民の安全のため調査を継続するよう要望しました。



未来のかけ橋から見た駅東側

11月9日 (火)
産業厚生常任委員会

調査件名

- 農林業の振興について
- 町の道路行政について
- ため池の放射性物質の確認について

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生

農

林業の振興
集団産地化への対応は

玉ねぎの集団産地化に伴う生産普及の取り組みについては、生産している農家が少なく状況であるため、面積割り当てを達成できるように、普及所と連携して適した土壌の調査などをを行い、農家に働きかけていきたいとの説明でした。

スマート農業の推進と実証結果の開示については、2年間の国の実証事業が行われているところだが、機械が高額であるため、国県の補助事業を精査しながら農家に働きかけていくとの説明でした。

また、実証結果の開示については可能であれば国の了解を得て開示していきたいとの説明でした。

ふるさと応援寄付金特典事業の現状と寄付増加に向けた特産品の開発については、件数は昨年度より落ちていくものの、今後大きく増えることが見込まれるとのことであり、長年の広野町の課題である特産品の開発についても、農産物加工施設の利活用も踏まえ力を入れていきたいとの説明でした。

農業次世代人材育成奨学金および人農地プランについては、国県の制度を活用してどのように取り組めば農業が成り立っていくのか、PRの仕方などを検討し随時その時に合った制度を作り、農業に携わりたい人への支援策を考えていきたいとの説明でした。

作物の核種検査については、全量全袋検査の結果が基準値以下となっておりことから安全性は担保されているとの説明でした。

水稲病虫害防除農業購入助成金および景観形成作物奨励補助金等については、見直すところは見直し予算を有効に活用していきたいとの説明でした。

圃場整備の進行状況については、門沢地区の農道は今和4年3月までに工事が完了する見込みだと県から話が出てくるとの説明でした。

亀ヶ崎地区の水路等の補完工事については回答が来ておらず町からも県に確認をするとの説明でした。

木材の売却による収益と事業者との情報交換については、森林再生事業で伐採した木材の売却益は地権者に入るとのこと、実施する場合も搬出等に係る費用によって赤字となることも考えられるため慎重に行いたいとの説明でした。

町道関山・土ヶ目木線は防護柵の設置予定箇所に入っているかについては設置対象に入っているとの説明でした。

町道鍋塚・土ヶ目木線の土砂搬出の状況については、事業者に復旧の指示はすでに出しているとの説明でした。

更に先に路肩が崩れている箇所があるため早急に現地を確認するよう要望しました。

早期に措置を講ずべき状態と判定された橋梁3橋の場所については、桜田第二橋、第三南沢橋、長畑橋との説明でした。

町道萱平線に関する予算措置については、来年度、路線にある橋の予備設計を計上したいと考えているとの説明でした。

町道高倉・亀ヶ崎線の歩道整備については、本年度中に未整備区間の地権者説明会を開き理解を求めたいと考えているとの説明でした。

交差点のカラー舗装については、学校から半径2km圏内の児童生徒が通る通学路中で優先順位を付け実施するとの説明でした。

委員から、県道広野小高線と町道との交差点における防災緑地の樹木により左右確認がしづらい箇所への対策、ガードレールを設置する際は自転車の安全性にも配慮したものを選定することなどを要望しました。

産業厚生

町

の道路行政
状況把握し早期に対策を

7人の議員が 町政を問う

畑中 大子 P 9

- COP26と広野火力発電所の今後について
- 新型コロナウイルス感染症の第3回ワクチン接種とオミクロン株について
- 町内の暗い道路を解消するために太陽光の利用を
- 空き家対策について
- ふたば未来学園のサッカー場の駐車場スペース拡大について

門馬 まりえ P10

- 脱お達者度ワースト1・脱メタバ宣言について
- 新型コロナウイルス感染症の取り組みについて

遠藤 浩 P11

- 教育施設におけることも達への安全・安心を守る取り組みについて

渡邊 正俊 P12

- 広野町ゼロカーボンシティ宣言の取り組みについて

阿部 憲一 P13

- 住民被曝の無視は愚策
- 町長によるパワハラの実態
- 責任回避をやめよ

小磯 利雄 P14

- 広野駅東側、住宅開発について
- コロナウイルス感染症の取り組み強化を
- 消防団待遇改善
- 学校給食共同調理場について

北郷 伯弘 P15

- 町長の3期目への意気込みについて

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いたたすものです。

追跡 レポート

追跡
レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

平成29年9月定例会 一般質問

門馬 巧 議員

小滝平浄水場改修の展開は

平成26年3月定例議会において、小滝平浄水場の整備について、町長は、当施設の老朽化が著しく、早期改修に向けて、関係機関と協議中であると述べているが、その後の展開はどうなっていますか。

平成33年供用開始に向け着手

本年3月に福島再生加速化交付金による改修事業の採択を受けたことから、平成33年（令和3年）4月の供用開始に向け、双葉地方水道企業団において実施設計に着手しました。

小滝平浄水場の改修が完了しました

令和3年10月29日に小滝平浄水場の改修が完了し、供用が開始されました。

12月24日には施設見学会が開かれ、議会でも新しくなった浄水場を見学しました。



小滝平浄水場

広野火力

今後の方針は

町長／脱炭素化図る

畑中

国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP26）で、石炭火力の段階的削減の加速や各国の温室効果ガス排出削減目標の強化を呼び掛けた成果文書が採択されました。
立地自治体として今後の広野火力発電所をどうしていきますか。

町長

技術革新によるアンモニアや水素の混焼・専焼を念頭に低炭素・脱炭素化を図り、30年、50年先の持続可能な将来に向けて取り組んでいきます。

サッカー場

駐車場拡大の働きかけを

町長／未来学園で計画進めている

畑中

ふたば未来学園サッカー場の駐車場には数台しか駐車スペースがなく、関係者が道路上に駐車しています。
早急に駐車スペースを確保するよう県に働きかけるべきではありませんか。

町長

サッカー部の練習試合等で他校の生徒や保護者が集まる場合は、町の職員駐車場を使用する対策を講じ、関係者がふるさと農道に路上駐車をしないよう取り決めをしています。
現在、ふたば未来学園においては、新たな駐車場を整備する計画を進めています。

空き家

対策の検討内容は

町長／防犯・移住両面で検討

畑中

通学する生徒から、空き家のそばが怖いと聞きました。
それだけではなく、空き家を放置していると火災などの心配もあります。
現在、町内に空き家は何軒ありますか。
また、空き家対策はどのようなことを検討していますか。

町長

空き家は平成31年2月7日の町消防団による調査により現在80軒です。
対策については、双葉警察署並びに双葉地方広域市町村圏組合消防本部と連携を図り、町消防団、町警戒パトロール隊が火災予防、警戒パトロールを実施しています。
空き家の所有者または管理者から活用要望があれば、移住施策において「お試し住宅」などで活用することを検討したいと考えています。



はたなか ひろこ
畑中 大子 議員



未来学園サッカー場の駐車スペース

こんな質問もしました

オミクロン株
国からの情報提供は
町長/現状では無い
暗い道路
太陽光の照明設置を
町長/状況に応じて対応



もんま 門馬 まりえ 議員

健康づくり

具体的な取り組みは

町長／すべての世代で町民と共に

門馬

ひろの秋まつりで、町長が「脱お達者度ワースト1・脱メタボ」を宣言しましたが、今後の具体的な取り組みについて伺います。

町長

赤ちゃん・子どもから働き盛り世代、高齢者に至るまで、ライフステージを通じた健康づくりを推進するため、「食育」の推進、健康に関する講演会の実施、健康増進事業の実施などに取り組み、町民の皆さんと共に、「福祉のまちづくり」《脱お達者度ワースト1・脱メタボ》に取り組んでいきます。

メタボってなに？

メタボリックシンドロームとは、内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態のことで、単に腹部が大きいだけではメタボリックシンドロームにあてはまりません。

日本ではウエスト周囲径（おへその高さの腹囲）が男性 85 cm・女性 90 cm以上で、かつ血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れると「メタボリックシンドローム」と診断されます。

健康まつりの掲示物

ワクチン

集団接種を選択した理由は

町長／接種予約の煩雑さを解消

門馬

①3回目のコロナワクチン接種について、個別接種から集団接種を選択した理由を伺います。

②第6波による感染拡大にどのように取り組めますか。

町長

①接種予約の煩雑さを解消とスピード感をもったワクチン接種体制を図り、高齢者等の住民の方を対象に、原則、集団接種の方式により令和4年2月から実施します。

②国・県と連携し、ワクチンの確保に取り組み3回目のワクチン接種を確実に履行します。引き続き、3密の回避、マスク着用などの感染症対策の徹底などの広報活動に取り組めます。

教育施設

子どもを守る取り組みは

町長／マニュアル作成し訓練実施

遠藤

①当町の教育施設は、開放的で子どもたちがのびのび学べる教育環境が整った施設である一方で不審者が容易に侵入できる敷地でもあると考えています。小中学校の危機管理マニュアルの整備状況を伺います。

教育長

①小学校、中学校ともに「危機管理マニュアル」を作成し、冊子にして全職員に配付しています。

②小学校では不審者から身を守るために必要なことを理解することを目的に、中学校では不審者侵入時の避難の方法を理解することを目的に、毎年5月から6月の間に1回、双葉警察署の協力を得て実施しています。

町長

③こども園内の職員は、給食調理員を含め18人体制となっており男性職員は1人です。「広野こども園防犯マニュアル」を作成し、職員の役割分担を明確にし、管理職の日々の往来により、園児の避難や、開園時においては、園内に外部の人間が容易に立ち入らないよう、園児の登降園時以外は、園庭の2つの門と正面玄関の施錠を実施して、安全確保に取り組んでいます。



えんどう ひろし
遠藤 浩 議員



教育の丘



わたなべ まさとし
渡邊 正俊 議員

ゼロカーボン

電気自動車への対応は

町長／社会情勢を見極めて対応

渡邊

①ゼロカーボン達成に向けた取り組みの中で、火力発電所はどのような位置づけとして考えていますか。

②2050年二酸化炭素排出ゼロを目指して、町民、事業者一体となって取り組む具体的な目標を示すべきと思います。いかが思いますか。

③電気自動車への移行が各国で進行していますが、EV、PHV車普及については、充電設備が整備されどこでも充電できる安心感が必要と思います。公用車等のEV化の取り組みや充電施設の整備等に率先して取り組んでいく考えはありますか。

町長

①福島第一、第二原子力発電所の廃炉が決定し、広野火力発電所は電力の安定供給に欠かすことのできない施設と捉えています。

広野火力発電所を運営する(株)JERAと一体となって、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとするゼロエミッション火発を実現させ、地域経済に重要な役割を果たす広野火力発電所を将来に渡って継承し、共に歩みを進めていきます。

②今年度、2050年のゼロカーボンに向けた「広野町ゼロカーボンビジョン」の策定を行っています。

策定するビジョンでは、会社などの業種ごとに取り組むべき目標や各家庭において取り組む目標を設定します。

今後、町民のみなさまや事業者のみなさまに丁寧にご説明し、具体的な取り組み方法の実践、モデルケースの構築を行い、「ゼロカーボンシティ広野」の創生に向け取り組んでいきます。

③現在はEV車の供給数が少ないことや充電設備などのインフラが整っておらず、経済的な需給バランスを欠いている状況にあります。

EV化に向けて、社会情勢を見極め、計画に沿って段階的に進めていきます。

公用車のEV化、公共施設等へ充電設備の設置を実施し、町民のみなさまには、取り組みに積極的に参加頂くための経済的な負担軽減となる補助制度の導入を念頭に取り組んでいきます。



IGCCが稼働開始

被曝問題

県民健康調査の見直しを

町長／対象見直す必要性はない

阿部

①以前の要望活動で、自民党の復興加速化本部長には要望内容を「焼け太り」と言われました。

経産省には彼らが最も気にする放射能汚染・被曝の現実を訴えようと思いません。

再来年に見直しが行われる国民健康保険税の減免措置について、どんな理由で継続を主張するのですか。

②我々はセシウムだけで数十万Bq/m²が点在

する町で暮らしており、最も深刻な初期の吸引被曝をした町民もいます。

県内の小児甲状腺癌は三百人超で、こんな発生割合の都道府県はありません。

県内の死亡者数は原発事故前に想定数よりも既に数万人は増加。

国保税の減免継続を求める最大の理由はこれではないですか。

③県は甲状腺検査で当時母胎になかった子供を対象外に。

また、B判定でも癌になりかけの「異常」の子供を検査対象外にして癌患者を極力少なく見せるごまかしを継続。

検査対象を見直すよう県に強く求めるつもりはありますか。

町長

①今なお住民が避難生活を継続し、帰町した住民においても同様に、健康面や経済面で不安な生活を送っており、医療費は増加傾向にあります。

国民健康保険税の減免措置の継続は、健康増進事業などの取り組みにより、住民の健康が改善され、震災前の健康水準に戻ることを念頭に取り組んでいます。

②国保税の減免措置の継続要望において、放射能汚染・被曝を具体的な理由に捉えてはいません。

③甲状腺検査の基準、運用については、医師などの有識者で組織する「県民健康調査検討委員会」で決定され、県内市町村全てにおいて同じ基準、運用で検査が行われている現状にあります。

調査対象を見直す必要性はないと捉えています。

パワハラ

対話集会での対応の謝罪を

町長／パワハラはしていない

阿部

6月の定例議会での町長の私へのパワハラ行為についての一般質問で、町長はさも自分は何の悪意もなかったかのように、私には丁寧に接したかのように話を作りました。

まるで私が嘘を言ったかのように答弁。

当日、来場者は数人だけだが、町長は私の質問の挙手に対して棒で鼻を突いたように無視を続けた末に、来場者が帰ると、体育館の裏で大勢で一人を取り囲むようなことをやりました。

町長は王様気取りで課長たちの真ん中に座って「課長、説明しなさい」の口調で一人ひとりに指図し、私の質問は無視しました。私に食ってかかる課長も出たが、この状況

町長

をけしかけたのは町長以外の誰でもない。これが女性なら間違いないとトラウマになります。

私に謝罪をするつもりはありませんか。

阿部議員に対し丁寧な説明をするための所作であり、パワハラはしていませんと受け止めています。

町の判断

責任回避をやめよ

町長／町の責任回避はしていない

阿部 先の臨時議会で、町長はコロナ騒動による地域の経済不振を受けて、町の賞与等の減額のための条例改正を提案し、「県に合わせて条例改正を」と述べた。県では人事委員会が知事以下への勧告を行うが、町は県の指示等を受ける立場にはなく、合わせるべきは町内の企業の実情である。当町は必要以上に防災無線でコロナ感染予防を呼び掛けたため、飲食業等の売り上げが落ち込み、町内は他と事情が異なる可能性も。町長は何でもそうだが責任回避に判断自体をしようと思わず、周りに合わせるだけ。いつからこのように固定化するようになったのですか。今後、議会への提案は。

町長 広野町における給与改正については、公平委員会の事務を委託している福島県人事委員会の勧告に基づき、適用したものであり、町の責任を回避したものではありません。



あべ けんいち
阿部 憲一 議員



こいそ としお
小磯 利雄 議員

住宅地開発

延期となった責任どちらか

町長／責任を問うものではない

小磯

①県が「津波浸水想定」を公表したことで住宅地開発が事業見直しになりました。
これまで計画地への投入額と今後の歳出予定はいくらになりますか。
②この様な事態を招いた責任はどちらにありますか。
③民間企業である事業者に新たな事案は発生しませんか。

町長

①これまで計画地への投入額は、合計約1億9050万円です。
令和4年度は、福島再生加速化交付金を活用した下水道管布設工事約4400万円、水道企業団による水道管布設工事約4500万円を計画しています。
②県が公表した浸水想定は、満潮時、堤防の地盤沈下が盛り込まれ、防災緑地内に津波が侵入する想定となったため、当初計画の変更が必要となりました。

消防団

処遇の改善を

町長／改善に向けて検討

小磯

①訓練等の出勤実績を伺います。
②報酬及び費用弁償額等処遇改善の観点から、見直しする考えはないか伺います。
③現況に合わせ、団の再編や定数見直し、さらに一層高度化された消防機械の配置などの拡充について伺います。

町長

①令和3年11月28日つなぎ放水訓練に50人、出初め式や検閲等にも出動しています。
②町消防団の報酬及び費用弁償、備品等の改善に向けて検討します。
③自然災害、火災等への有事即応体制の確立に向けて団の再編や定数について引き続き検討して対応していきます。
高度な消防機械を保有している双葉地方広域市町村圏組合消防本部等と連携を図り、火災、大規模災害時における消火及び避難誘導、救護活動等を行う消防活動の支援体制を構築しています。

給食調理場

施設の改修は

教育長／緊急性等鑑みて検討

小磯

①設備の老朽化が目立ちますが、完成した日はいつですか。
また、アスベスト使用はありませんか。
②学校給食法等の改正に本町施設でどのような対応されていますか。
③施設の新設、大規模改修について伺います。

教育長

①昭和63年3月に建築されました。
設計年次、設計図書からアスベストを含んでいると思われる。

②学校給食法に定める7つの「学校給食の目標」達成を目指し、「生きた教材」になり得るよう献立の質の向上に務め、小学校・中学校と連携しながら、食育推進の取組を行っています。
③老朽化や改善が必要な箇所は、緊急性等を鑑みながら改修・改善を速やかに行うとともに、施設の新設、大規模改修について検討、協議を進めています。

こんな質問もしました

コロナ対策
感染者と家族に支援を
町長/支援に向け県と協議中

町長

3期目への意気込みは

町長／町民と対話し全力で

北郷

①3期目の就任にあたり、今後の町政執行をどのような目標を持って望んでいくのか伺います。

②駅東側若者移住定住プログラムは今後の町政の中で大きな課題になると思われますが対策等について伺います。

町長

①具体的な施策として、町独自の健康福祉手帳の作成や広野健康ポイント事業など、健康・長寿を意識した施策の更なる推進を図っていきます。

②子ども園、小中学校ふたば未来学園と高等学術教育機関と連携を図り、今後整備される国際教育研究拠点の更なる展望を国に提言していきます。

住民と復興関連従事者が共に支障なく生活できる環境を整えていきます。

第2期復興・創生期間に入りましたが、当町の復興は道半ばであります。

今後においても、まだ避難をされている方を含め全ての町民との対話を大切にしながら、次の世代へと引き継げ

る町を創生していきま

す。広野町の復興・創生から、双葉地方さらには福島県全体を見据え、被災地が希望を感じることができる復興・創生を果たせるよう、全身全霊・全力で取り組んでいきます。

②第五次町勢振興計画において、令和7年度、広野町の人口5千人を堅持すると目標に定めています。

被災地復興のシンボルである広野駅東側に住宅団地を整備し、若者世代の移住・定住施策を行い、目標達成に向けて取り組んでいきます。

これまでの子育て、教育、住宅、就労、医療、福祉などの施策をより充実・強化させ、専用窓口で専門員が一

括して案内するとともに、ホームページやパンフレットの刷新を図り、情報発信により関係人口を広げ、広野町が移住先に選んで頂けるよう国や県などが主催する移住イベントにも積極的に参加し、トップセールスにより、県内はもとより県外にも積極的にアプローチを行い、海と山に囲まれ自然豊かな風光明媚の風土・風習を今後50年、100年先の魅力ある町づくりに向けて取り組んでいきます。



町長の3期目初登庁

一般質問



きたごう みちひろ
北郷 伯弘 議員

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無：無記名投票
 ※議長は採決に加わりません。

令和3年10月 第7回臨時会

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	議員名(議席番号順)										
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
								阿部憲一	北郷伯弘	遠藤浩	北郷幹夫	門馬まりえ	畑中大子	小磯利雄	門馬巧	渡邊正俊	黒田政徳	
議案第82号	工事請負契約の締結について (広野町文化交流施設改修工事)	10/11	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	工事請負契約の締結について (広野町築地ヶ丘体育館解体工事)	10/11	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○

審議結果

令和3年10月 第8回臨時会

議案第84号	令和3年度広野町一般会計補正予算 (第5号)	10/27	10	8	8	0	原案可決	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
--------	---------------------------	-------	----	---	---	---	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

令和3年11月 第9回臨時会

議案第85号	広野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	11/30	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	11/30	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11/30	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○

令和3年12月 第4回定例会

議案第88号	専決処分の報告及びその承認について (令和3年度広野町一般会計補正予算(第6号))	12/16	10	9	9	0	原案承認	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	双葉南地区心身障害児就学指導審議会共同設置規約の一部を改正する規約	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	財産の取得について (広野町文化交流施設備品購入)	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	財産の処分について (広野原団地)	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号	令和3年度広野町一般会計補正予算 (第7号)	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号 ～97号	令和3年度各特別会計補正予算	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	令和3年度広野町一般会計補正予算 (第8号)	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○
発議第9号	折木下原地区採石場埋め戻し計画に関し住民の意見を最大限に尊重するよう求める意見書	12/16	10	9	9	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○

会議等出欠状況

議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村会が主催する会議にも出席しています。

令和3年10月1日～12月31日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
				阿部 憲一	北郷 伯弘	遠藤 浩	北郷 幹夫	門馬 まりえ	畑中 大子	小磯 利雄	門馬 巧	渡邊 正俊	黒田 政徳
出席回数(回)				11	13	10	15	9	12	14	10	13	10
会議回数(回)				13	13	10	15	10	13	14	11	13	11
10	1	金	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
	5	火	広報委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
	11	月	令和3年第7回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	水	町村議会議員研修会	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○
	27	水	第8回臨時会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	8	月	総務文教常任委員会	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○
	9	火	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
	11	木	道の駅に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	30	火	議会基本条例に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	7	火	議会運営委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○
	15	水	令和3年第4回定例会(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	木	令和3年第4回定例会(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	水	町村議会正副議長・事務局長研修会	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-
	24	金	小滝平浄水場見学会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	金	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、行政視察の受け入れを見合わせています。

議会の様子を見てみませんか？



次回の定例会は3月です

議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。
また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。広野町ホームページまたは、右のQRコードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。



広野町ホームページ
<https://www.town.hirono.fukushima.jp/>
 議会映像ホームページ
<http://hirono.k-quick.net/>





子どもたちへ10万円

国や町の対応に思うことは？



遠藤 千枝子さん
(折木)

国が、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、子どもたちに1人あたり10万円を給付することを決定しました。
 広野町では、所得制限を設けずに一括して現金で給付することに決定しました。
 町民の方から、国や町の対応についてご感想を伺いました。

一人で子育てしている人などへの支援はとても助かるし、所得制限を無くしたこともよいやり方だとは思いますが、一方で年金生活の高齢者やコロナ禍で大変な状況になってきている人も多く、国民全体に支給してほしい。
 まじめに税金を納めているのだから、こういう大変な時に、国民を助けるのが国の役目ではないでしょうか。



鈴木 貴幸さん
(折木)

子育てしている方には、やさしい政策だと思うが、10万円を貯蓄に回す人もいます。
 使用方は個人の理由があり、全て現金にしたことは評価できるが、むしろ貯蓄に回す人達の、背景にある将来への不安に対して目を向けてほしい。
 自らの親の世代は年金しか収入がなく、コロナ禍で生活不安も増えているので、全員に支給を皆さんが求めているのではないか。

編集後記

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられましたことお慶び申し上げます。

私も、手をかけてきた蜂屋柿が柔らかく甘い干柿に仕上がりと、和やかな気持ちで新年を迎えることができました。
 昨年は、地震や台風などの被害の復旧がほぼ完了したことで、復興の進展を強く感じた年でありました。

今年も、コロナ禍の中での情報通信技術を活用した教育環境の充実、農業従事者の減少や高齢化への対策など課題は山積しています。が、課題解決に向け広い視野で明るい未来を探り、広野町に新たな魅力を創出できるよう議会活動に励んで参ります。

(北郷 伯弘)



甘さが増す干柿

次の定例会は3月です

- 発行・編集責任者 議長 北郷幹夫
 広報委員会 委員長 阿部憲一
 委員長 渡邊正俊
 委員 小磯利雄
 委員 畑中天子
 委員 北郷伯弘

